

光明の橋



東京都立光明学園（肢・病併置校）
全校保護者会学校通信④年度末号
両部門：令和2年3月13日（金）号
校長 田村 康二郎

3/6（金）全校保護者会・寄宿舍保護者会で直接校長よりお話をさせていただき予定だった内容を、「光明の橋」でお伝えします。

今回は、臨時休業という不測の事態を受け、紙面での御説明となりますが、従来から「光明の橋」は御都合等で保護者会に出席できなかった保護者の方にも同じ情報が届くように、学校と保護者の皆様の架け橋として発行してまいりました。開校して3年、ここまでの積み重ねを礎に、令和元年度の1年間のまとめ等を紙上にてご説明いたします。

なお、3/6（金）に共に開催予定であった「医療的ケア指定二事業報告会」の内容は別紙「光明の橋 ー医療的ケア版ー」にてお伝えいたします。合わせて御覧ください。

平成31（令和元）年度における学校教育活動の総括について-御支援・御協力の御礼-

今年度は、令和6年全面完成予定のうち、第一段として西棟が完成及し、校舎移転がありました。荷物の持ち帰りや運び入れ等、保護者の皆様に御協力をいただき、円滑に移転することができ、2学期より新しい環境下での学校生活を始めることができました。

S部門生は毎日の学習活動に、B部門生は給食時や理科の学習等に西棟を使用し、新しい校舎の機能にも次第に慣れてきました。S部門学園生の学校生活は、（3つの棟に分かれていた旧校舎時代と比して）主に西棟の1・2階となり、小中高、各学部の日常的な様子が互いによく分かるようになりました。B部門はA棟2階エリアに教室が一続きとなり、（あたかも中等教育学校のように）部門の一体感も生まれました。午前の授業を終えると給食のある西棟食堂に向かうB部門生の足取りは軽やかです。S部門学園生と廊下で出会ったり、食堂を2つに分けて給食を食べているS小学部5年生の一部の児童とも顔見知りになったりして、新しい交流が見られています。西棟の体育室でも積極的にS部門とB部門が交流する姿が見られています。新校舎の活用を通して「併置型学園としての良さ」がさらに実感できますように教育活動を展開して参ります。

また、第二弾の北棟は、令和3年11月頃の完成、令和4年1月頃の竣工に向けて、計画的に進んでいます。御不便等おかけしますが、安全・安心の新校舎建築及び移転と並行して、新たな機能を生かした魅力ある教育活動を行ってまいりますので、引き続き、御理解・御協力をお願いします。

<S・B> 平成31（令和元）年度学校評価アンケート 集計結果とまとめについて

昨年12月に実施いたしました「学校評価アンケート」（保護者用）及び「よりよい学校生活にするためのアンケート」（学園生用）へ多くの方に御協力いただきました。厚くお礼申し上げます。

「令和元年度の集計結果とまとめ」については、在校生及び小・中卒業生には3月19日（木）の定期郵便にて、高3卒業生には、19日（木）に直接お届けします。

小中学部卒業式・高等部卒業式について 最新情報：従来の形と大きく変わります！

小学部6年間、中学部・高等部3年間の学びの積み重ねの証を授与する卒業式は、現状況下で様々な制約がある中ですが、文部科学省・東京都教育委員会の方針に基づき、感染拡大を防ぐことを最優先の上で、学校としてでき得る限りの厳粛かつ清新な卒業式を行います。

ポイント：最新情報です。「健康の橋4号」の説明から変更点があります！

- ①式場（体育館）に入れる出席者は、卒業生・担当教職員・看護師のみ。
来校された卒業生保護者は、控室（西棟体育室）で待機していただきます。
- ②在学学生及びその保護者は参列できません。
来校もご遠慮ください。（会場だけでなく A・西棟にも立入りできません。）
- ③祝辞・送辞・答辞等を取りやめ、式自体の時間を大幅に短縮します。
- ④体育館内に大きく間隔を取って着席するとともに、十分に換気します。
- ⑤来場者のマスク着用と出入口での手指消毒を徹底します。

※卒業学年の皆様には、別途詳細の内容を御連絡します。

※尚、感染予防の観点から当日休まれる場合は「欠席」ではなく「出席停止」扱いとなります。（一律に欠席とはなりません。健康の橋6号の説明を訂正します）

修了式3/25（水）は登校日です！（S・B 両部門通学籍の在校生は登校できます）

現時点では、この日を授業日として設定しています。本校舎S通学生向けに全スクールバス・専用通学車両を運行します。集団化を避け、修了式を全校放送により行った上で、各学級教室で担任から修了証を授与します。当初の予定通り11：50下校となります。なお感染予防の観点から登校を見合わせる場合には、書留やレターパック等を利用して郵送いたします。

在宅訪問学級の学園生につきましても、御自宅を担任教員が短時間訪問して修了式（修了証の授与）を行うべく計画しています。なお、感染予防の観点から御自宅での修了式を希望されない場合には、郵送によるお届けも可能です。訪問の可否や日程設定も含めて、事前に担任より御相談させていただきますので、よろしくおねがいします。

そよかぜ分教室生・病院訪問生については、別途、担当からお知らせします。

※尚、感染予防の観点から当日休まれる場合は「欠席」ではなく「出席停止」扱いとなります。（一律に欠席とはなりません。健康の橋6号の説明を訂正します）

<B寄宿舎生>登校日（卒業式日3/19又は3/24、修了式日3/25）の寄宿舎利用について

通常、休み明けの登校時は、寄宿舎に寄り登校しますが、

今回は両式日とも感染症対策の観点から、直接、学校に登校するとさせていただきます。
なお、下校時は寄宿舎に寄り、荷物を持ち帰ることは可能です。

平成31（令和元）年度の教育活動報告

B部門が、今年度より開始した教育活動について、御報告いたします。

- ①4月には、部門内の親睦を深めること、世田谷区の歴史や地理を学ぶことをねらいとして生徒教員全員参加の「部門遠足」を実施しました。豪徳寺、世田谷城址公園、松陰神社で、グループ対抗でオリエンテーリングやクイズをしながら、徒歩で周り、世田谷区役所レストランで昼食をいただきました。
- ②5月から、美術の授業を中高合同で行い、横断幕をデザインしました。この作品は光美展で銀賞を受賞、全国公開研究会では生徒たちが舞台上にて来場者にも披露しました。
- ③7月からは、梅丘中学校図書室の利用を開始しました。最初に、司書の方にオリエンテーションをしていただきました。生徒たちは、それぞれ興味関心のある分野の本を借りて読書をしています。中学校では訪問時に挨拶をし、図書室のマナーを守って利用をしています。
- ④高等部では、自立した社会生活を目指し、一定の手続きを経た生徒に、自宅からの一人通学許

可を開始しました。今年度は、3名の生徒が一人通学を実施しました。3名とも安全に遅刻することなく登校できました。

- ⑤ 10月からは、自立活動の授業で、健康の維持や体力の向上と公共施設の利用ルールやマナーの学習のため、梅丘中学校内の世田谷区温水プールに月に2回程度行きました。自立活動では、栄養士をゲストティーチャーとして招き、栄養教室も行いました。
 - ⑥ 11月には、羽根木公園の野球場で、体育の授業として「野球大会」をしました。学習の成果が発揮できた白熱した素晴らしいゲームでした。
 - ⑦ 保護者の皆様より「土曜授業参観日は、1時間目から6時間目までのすべての授業を参観したい」という御希望をいただき、11月30日の第2回授業参観日は、全授業の参観といたしました。生徒の一日の様子を見ていただく機会となりました。
 - ⑧ 12月には、芸術鑑賞教室として「劇団四季」のミュージカルを学部ごとに観に行きました。中学部は「ライオンキング」、高等部は「キャッツ」です。初めてミュージカル観劇をする生徒もいて、目の前に広がる華やかなステージに感動していました。
 - ⑨ 同じく12月には、「社会貢献活動」として、東京リハビリテーションセンター世田谷の利用者の方々、職員の方々と交流会を実施しました。光明祭の舞台発表や教室発表の披露、グループ対抗の風船バレーゲームを行いました。交流会の進行は生徒が行い、好評をいただきました。事後学習としてお礼状を全員で持参しました。そのお礼状は玄関に掲示していただきました。
 - ⑩ 1月には、中学部生徒の作品が展示された「第5回東京都特別支援学校アートプロジェクト展」の鑑賞に出かけました。会場は上野の東京芸術大学美術館陳列館でした。
- ◆ 保護者の皆様の御理解と御協力、ありがとうございました。次年度も、学園生が生き生きと活躍する教育活動を実践してまいります。御協力お願いいたします。

<S・B>第2回全国公開研究会に御協力くださり、有難うございました！

2月7日（金）、第3回全国公開研究会が行われました。北は北海道、南は沖縄まで、全国の特別支援学校や、福祉施設や行政機関の方々、200名を超えるお客様が学園に来校されました。

来校された方々は、「授業参観ガイド」を片手に、両部門の全授業を熱心に見学されており、学園の授業実践が多くの方々に注目されていることを実感するとともに、アクティブ・ラーニングで学ぶ学園生たちの生き生きした学習の様子を見ていただくことができました。

また、多数の教員による教材・教具・授業実践等を紹介した「ポスター発表」は、熱気に包まれ大盛況でした。教員のプレゼンテーション能力の向上にもつながりました。

さらに本校の特色ある取組の中から、①宮城武久先生を招聘講師とした講義「認知学習の指導」と指導体験演習、②病院内教育のメソッド理解～遠隔授業等の実践レポートをもとに～、③授業改善システム～明日の授業を変える「授業者支援会議」の活用～、④最新プログラミング教育の展開～スクラッチ・VR ゴーグル等の活用を通して～、⑤医療的ケア最前線～専用通学車両・呼吸器対応などの最新状況～ の5つの分科会を展開しました。それぞれの分科会において、参加者と本校教職員が共に学びあう貴重な機会となりました。

これからも光明学園としての実践を広く発信していくことで、授業力の向上を図っていきます。全国公開研究会当日は、午前便での下校等、御協力ありがとうございました。

< S > 外部専門家「教材作成アドバイザー」の教材を御紹介します！

学習指導アドバイザーが導入されて2年が経ちました。学園の中に少しずつ認知の個別課題に向けての取組が広がっていきます。それに伴って課題別学習で使う「教材」を作成したいという声も聞かれるようになり、外部専門家に「教材作成アドバイザー」の日高壮先生を招聘しています。

教員たちの「こんな教材を作りたい」という相談を受け、一緒に作成アドバイスをいただける先生で、教員のアイデアで生まれたたくさんのスイッチ教材があります。

さらにもう一人、「教材作成アドバイザー」金竹隆志先生からも指導を受けています。金竹先生には屋上プール横の空きスペースを教材作成用の「木工作业室」として整備していただき、教材作成アドバイザーの支援を受けられる環境の下、教職員が工具を駆使して、木工の新作教材を作れるような環境が整ってきています。

<S・B> 3/5に「光書展：作品集」を配布いたしました。御鑑賞ください！

新校舎落成記念行事として行われた「書初め大会」では、伸び伸びとした個性的な書がたくさん認められました。S・B両部門、分教室、病院内訪問、在宅訪問の全学園生が出品した作品の中から、国語科・書道科の教員たちが入選作品として「アースブルー賞」35作品を選びました。

そして、さらにその入選作品から、校長・副校長・両部門のPTA会長が審査員となって、金賞1作品・銀賞5作品を選びました。

また書初め大会では、「光明学園」の筆文字を書いて下さった書家の森大衛先生に、学園生に相應しい「学び光る」という文字を、体育館に集まった学園生の前で、大きく書いていただきました。

書道講師の楠瀬みよ子先生は、各教室で書初めをしている学園生のところにも回り、直接御指導をくださいました。

入選作品については「光書展作品集」としてまとめ、各御家庭に配布しました。国語科・書道科教員たちによる選者のコメントも記されています。是非、御鑑賞ください。

なお、受賞者への表彰式は、修了式日に校長・副校長が個別に教室を回って行っていきます。

式日に登校しない学園生には、事前にご相談の上、可能な場合は、校長又は副校長が個別に表彰に伺います。

< S > 光美展・光書展入賞作品の外部展覧会へのエントリーに御協力ください！

皆様の御声援を得て、今年度は西棟で初の「光美展」「光書展」を開催することができました。校外外を含め、多くの方々に学園生のひとときを光輝く作品を新しい校舎で御覧いただき、「両部門の学園生それぞれの個性を感じられる貴重な機会となった」との感想をいただきました。

この光美展、光書展入賞となった学園生の作品につきましては、本学園代表作品として、伝統ある外部の公募展へのエントリーを計画していますので、御協力をお願いします。

<社会福祉法人>日本肢体不自由児協会が主催する「肢体不自由児・者の美術展」を御存知でしょうか。常陸宮殿下が総裁をお勤めになるこの協会が永年積み上げて来られた本公募展では、肢体不自由児・者の生きがいづくりと障害者理解促進を趣旨として、全国の肢体不自由児から美術作品（絵画・書）の作品を毎年募集しています（昨年は9月下旬応募期限）。

今年は、児童1名の作品が努力賞に選ばれました。この公募展に本校光美展、光書展入選作品を学校代表作品としてエントリーし、学園生の素晴らしい作品がさらに榮譽を受ける機会を得るとともに、全国に発信することにより、学園生一人一人のアートに取り組む意欲を大切に参ります。

協会が定めている作品分野やサイズ等の作品規定も踏まえた上で、エントリー可能な方には、別途御相談します。作品によっては、応募時期まで学校で保管させていただき、エントリー手続きを行いますので、ぜひ御協力ください。

<S・B寄宿舎生> 寄宿舎保護者会について

今年度も寄宿舎教育に御理解、御協力いただき有難うございました。

光明学園で3年間過ごした高等部生が卒業を迎え、時の流れの早さを感じています。

併置3年目の今年度は、行事や生活習慣を改善するための取り組みにおいて、これまで以上に、学園生が主体となり活動できるように支援してきました。

舎生会を中心とした自治的活動も、S・B 両部門の学園生が一緒にできることをと考へ、実際に活動することができました。保護者参観週間の際には、その一端である話し合いの様子などを見ていただくことができました。来年度も保護者参観週間を予定しておりますので、是非、御参観ください。

来年度より、寄宿舎の開舎・閉舎に関して従来からの変更があります。詳細につきましては同封の別紙「令和2年度の寄宿舎開舎、閉舎の変更について」を御覧ください。

御理解・御協力、ありがとうございました。

<S・B> 次年度の教育計画のお知らせ時期について

新年度の教育活動に関して、以下の文書配布を予定していますのでお知らせします。

- 【配布文書】 ①「令和2年度 学級編制及び指導体制」、
②「令和2年度 肢体不自由教育部門 学習グループ編成」(S部門のみ)
③「異動等一覧」「年間行事予定(確定版)」

- 【配布日】 在校生・・・・・・・・・・ 4/6(月)【第一学期始業式日】
新入生(小・中学部)・・・・ 4/7(火)【小学部・中学部入学式日】
新入生(高等部)・・・・・・ 4/8(水)【高等部入学式日】
そよかぜ分教室在校生・・・・ 4/6(月)【第一学期始業式日】
在宅訪問生・・・・・・・・・・ ①は4/3(金)担当副校長より電話連絡。
②③は各学園生の始業日【第一学期始業式日】
病院訪問生・・・・・・・・・・ 4/6(月)始業日【第一学期始業式日】

<S> 令和2年度年度のスクールバス運行について

日頃よりスクールバスの円滑な運行につきまして、御理解・御協力いただき、有難うございます。進級・進学により、各スクールバスに乗車する学園生も変わるため、毎年見直しを行っています。

次年度に向けても、遠くにお住いの方ができるだけ所要時間が少ないように、新コースやルートを丹念に検討いたしました。前年度と比較し、御不便をおかけする方もあるかと思いますが、スクールバスが円滑に運行できますように御協力ください。

また、年度初めは交通量が多いので、バスが遅れやすくなります。大幅な遅れが常になると判断した場合は、時刻表変更を行うこともあります。その際は、お知らせいたします。

【重要なお知らせ】

- 1 既にお知らせしていますが、2便から1便への乗車変更はできません。
- 2 年度の初めに申請した停留所以外の停留所の利用はできません。
- 3 年度末に配布するバスカードは新年度になってから、学校に御提出ください。
- 4 バス会社に変更しているコースもあります。バスカードと同送の新時刻表を御覧いただき、出欠連絡の営業所電話番号を御確認ください。

<S> 西棟バスターミナルの一時停車利用について 【再掲】

9月の西棟移転後、安全性を確かめながら段階を経て、一時停車可能な時間帯を拡大してきました。改めて、現行の停車利用可能時間等をお伝えいたします。

利用可能時間：(1) 9時05分から13時20分まで
(2) 16時00分から17時00分まで(各種検定試験等に参加の場合のみ)
停車可能時間：15分以内

利用できない日は、月末配布の学校通信「光明の学び」の各月の行事予定表で、西棟バスターミナル使用不可の日を「×」と記載するとともに、毎朝のツイッターでお知らせしています。

なお、校外学習等でスクールバスを使用する「×」の当日は、入口に黄色のボードで大きく掲示しています。スクールバスの出入りがあり、送迎車とスクールバスの競合を避け、安全を確保することから、「×」としていますので、御理解・御協力をお願いいたします。

※発熱等、体調不良時のお迎えは、この限りではありません。お子様の体調を優先し、御利用いただくとともに、お迎えの連絡の際、利用時間や駐車場所について担任等と御相談ください。

また、登校時、西棟バスターミナル内にバスが入庫するため大変危険です。A棟中庭から移動する際は、西棟バスターミナルには8時50分まで入らないようお願いいたします。

<S・B> 中庭駐車場の利用について

次年度も中庭駐車場を御利用いただけるのは「駐車票」をお持ちの方のみです。駐車票はスクールバスに座席のない方や、学校が保護者付き添いを依頼している方を対象に年度ごとに発行しています。現在、駐車票をお持ちの方はお手数ですが、新年度、学校が始まりましたら、新担任にお戻りください。

また、年度初めに引き継ぎ等で御来校が必要になる方には、引き継ぎ期間のみ有効の「臨時駐車票」を発行いたしますので、新担任までお申し出ください。

今年度は1年間かけて中庭の駐車可能台数を増やせるよう、ライン引き・藤棚撤去・砂場の通路化など様々な改善をしてきました。しかし、ここ数年増え続けている下校時の放デイ送迎車や専用通学車両の増車も相まって、特に全校短縮日や全校2便の木曜日には大変混雑し、安全な運行に支障をきたす事態にもなっています。

場合によっては止むを得ず駐車場への入場制限をすることもあるかと思いますが、御理解・御協力をお願いいたします。

また効率的に駐車できるよう、体育館側を訪デイ送迎車・専用通学車両などの大型ワゴン車優先とさせていただいております。保護者の皆様は、極力芝生側をお使いになるよう御協力をお願いします。